

館長兼芸術総監督おすすめコメント

当劇場では開館以来、様々なジャンルの公演を開催してまいりましたが、「これだけはいつか市民の皆様にお届けして体験してほしい」と強く思い続けているものがあります。それが、「オペラ」です。いつか東海市芸術劇場でフル・オペラ公演を開催することを願ってこの「オペラ入門編」とも言うべき「オペラペラコンサート」も回数を重ねてきましたが次へのステップ・アップのために今回は更に歌もお話も楽しめる内容となっておりますので是非ご来場くださいませ。会場でお待ちしております。

東海市芸術劇場館長兼芸術総監督 安江正也

Opera
Peropera

オペラペラペラ 5ヶ条

- その1、 オペラは絶対にむずかしくない!
- その2、 オペラはわかりやすい“お芝居”である!
- その3、 オペラは最高峰の声と歌が楽しめる!
- その4、 オペラはすばらしい“音楽”作品である!
- その5、 あなたはそのオペラを体験すべきである!!

Concert



ソプラノ
天羽 明恵

Akie Amou

東京芸術大学卒業。オペラ研修所、二期会オペラ・スタジオ修了。1993年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてシュトゥットガルト音楽大学に留学。95年第6回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。副賞として財団の助成によりベルリンで2年間研修を

行う。同年7月、新人の登竜門として知られるラインスベルク音楽祭で、「ナクソス島のアリアドネ」のツェルビネッタをクリスティアン・ティエレマンの指揮で歌い欧州デビュー、続いて8月に、ソニア・ノルウェー女王記念第3回国際音楽コンクールに優勝して、一躍注目を集めることとなった。その後、ドイツを拠点として、ジュネーヴ大劇場、ザクセン州立歌劇場（ゼンパー・オーパー）、ベルリン・コミッシェ・オーパー、ノルウェー国立オペラ劇場等、ヨーロッパ各地の歌劇場や音楽祭のオペラに数多く出演。日本では、新国立劇場、サントリーホール・ホールオペラなどへ定期的に登場。超絶的なコロラトゥーラとリリックな声が内外で高い評価を得ており、日本の主要なオーケストラの定期公演にも、著名な指揮者の下、ソリストとして出演している。サントリーホール・オペラアカデミーのコーチング・ファカルティとして若手の指導にも力を入れる他、解説付きオペラの公演をプロデュースし、オペラの啓蒙活動にも積極的に取り組んでいる。2020年11月にソアラバム「R.シュトラウス 4つの最後の歌」をリリース。1999年度アリオン賞、2003年第14回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞をそれぞれ受賞。これまで故戸田敏子、フランシス・シマール、故エルンスト・ヘフリガー、太田直樹の各氏に師事。日本ロッシーニ協会運営委員。



バリトン
須藤 慎吾

Shingo Sudo

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。第21回ヴァルセミア国際音楽コンクール入選。第10回オルヴィエート国際オペラコンクール第2位。第37回イタリア声楽コンクール・シエナ大賞受賞。第42回日伊声楽コンクール第1位、同時に歌曲賞受賞。国立音楽大学大学院オペラ「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールでオペラデビュー後イタリアに留学。7年間の在伊ミラノを中心に「イル・トロヴァトーレ」ルーナ伯爵、「ラ・トラヴィアータ」ジェルモン、「仮面舞踏会」レナート、「リゴレット」タイトルロール、「オテッロ」イヤゴ、「アイダ」アモナズロ、「マン・レスコー」レスコー、「ラ・ボエーム」マルチェロ、「トスカ」スカルピア、「カルメン」エスカミリーヨ、「道化師」トニオ、「清教徒」リッカド、「セビリアの理髪師」フィガロ、「愛の妙薬」ベルコレ等多数に出演。現在藤原歌劇団を始め新国立劇場等でプリモ・バリトンとして活躍している。藤原歌劇団団員。国立音楽大学講師。

ア声楽コンクール・シエナ大賞受賞。第42回日伊声楽コンクール第1位、同時に歌曲賞受賞。国立音楽大学大学院オペラ「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールでオペラデビュー後イタリアに留学。7年間の在伊ミラノを中心に「イル・トロヴァトーレ」ルーナ伯爵、「ラ・トラヴィアータ」ジェルモン、「仮面舞踏会」レナート、「リゴレット」タイトルロール、「オテッロ」イヤゴ、「アイダ」アモナズロ、「マン・レスコー」レスコー、「ラ・ボエーム」マルチェロ、「トスカ」スカルピア、「カルメン」エスカミリーヨ、「道化師」トニオ、「清教徒」リッカド、「セビリアの理髪師」フィガロ、「愛の妙薬」ベルコレ等多数に出演。現在藤原歌劇団を始め新国立劇場等でプリモ・バリトンとして活躍している。藤原歌劇団団員。国立音楽大学講師。



ピアノ
村上 寿昭

Toshiaki Murakami

東京生まれ。ピアノを塩野圭子氏に師事。15歳より指揮を高階正光氏に師事。桐朋学園大学にて指揮を小澤征爾、黒岩英臣、秋山和慶の各氏に師事。大学在学中から、新日本フィルハーモニー交響楽団、サイトウ・キネン・オーケストラにて、その後も水戸室内管弦楽団、ウィーン国立歌劇場で小澤征爾氏のアシスタントを務める。サントリーホール・オペラにてグスタフ・クーン、ダニエル・オーレン、ニコラ・ルイゾッティ、各氏のアシスタントを務める。1997年渡独。ベルリン国立芸術大学でマティアス・フスマン教授に師事。また2000年からは文化庁海外研修者として、またロームミュージックファンデーションの助成を受けウィーンへ留学。ウィーン国立音楽大学でレオポルト・ハーガー教授、湯浅勇治氏に師事。2000年タングルウッド音楽祭にフェローとして参加し、小澤征爾、ロバート・スパーノ、アンドレ・プレヴィンの各氏に師事。また翌年にはアシスタントとして招待を受ける。2004年から2006年までオーストリア・リンツ州立歌劇場に在籍、2006年からドイツ・ハノーファー州立歌劇場に転じ、2008年から2012年まではカペルマイスターとして数多くのオペラ、バレエを指揮。また、ベルリン交響楽団、リニア国立管弦楽団をはじめ数多くのオーケストラから招かれる。2015年、活動の中心を日本に移す事を決意する。これまで国内においては、1999年、2002年にサイトウ・キネン・フェスティバルに招かれ「武満徹メモリアルコンサート」を指揮、2002年には小澤征爾音楽塾にて「ドン・ジョヴァンニ」を、また、新日本フィルハーモニー交響楽団を指揮する。その後は大阪交響楽団、京都市交響楽団、京都フィルなどから招かれた。2010年にはびわ湖ホールにて「ヘンゼルとグレーテル」を指揮。2016年小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXIVにて「こもり」を、翌年は「カルメン」を指揮（小澤征爾氏と振り分け）。2016年セゾン・サワ松本フェスティバルにてGigコンサートを指揮。

劇場インフォメーション

～ひとつくりパートナーシップ・シリーズ～

名フィル 0歳からのわくわくオーケストラ

2022年1月29日(土) 11:00開演

東海市芸術劇場 大ホール

一般 ¥1,500 子ども(高校生以下) ¥500

出演:梅田俊明(指揮)

名古屋フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

※プログラムはトーク付約1時間の内容です。



一般発売:2021年10月31日(日)

藤村実穂子リサイタル

2022年2月20日(日) 15:00開演

東海市芸術劇場 大ホール

一般 ¥3,000 小中高生 ¥1,000

※未就学児入場不可

【ユウナルフレンドメンバーズ】一般 ¥2,700 小中高生 ¥900

【プラチナ会員価格】

プログラム:マーラー/さすらう若人の歌、細川俊夫/日本の民謡による歌曲(仮題)ほか

出演:藤村実穂子(メゾソプラノ)、ヴォルフラム・リーガー(ピアノ)



先行発売:2021年11月27日(土) / 一般発売:2021年12月4日(土)